

令和6年6月11日 開催 市民活動支援補助金(スタート補助金・ジャンプ補助金)審査結果

補助金種別		スタート	ジャンプ
団体名		7.23竹灯りのつどい実行委員会	一般社団法人 トムテのおもちゃ箱
事業名		7.23竹灯かりのつどい開催	「あそび×こども」みらい応援プロジェクト
事業概要		昭和57年7月23日に発生した「長崎大水害」で犠牲になられた299名の方々に追悼するために、竹あかりを7月23日に中島川沿いで点灯する。竹あかりは市内の竹林で伐採した竹を用いて、市内の小学生や大学生と共に制作する。	メディアに大きく依存した遊びが子どもたちの主流を占める現代社会において、アナログゲームを通して、人と関わる楽しみを実感できる場を提供する。また、アナログゲーム作家を講師として迎え、アナログゲームに関するワークショップを開催することで、あそびを通して実際にどのような力が育まれるのか等子どもの育ちについての学びを深める。
事業費総額		120,000円	331,000円
補助申請額		88,000円	174,000円
補助予定額		88,000円	174,000円
審査項目	配点	各審査項目における平均点	各審査項目における平均点
1	事業の必要性	10点	8.5点
2	事業の実現性	10点	8.0点
3	事業の普及性及び波及効果	10点	6.5点
4	事業の継続性及び発展性	5点	-
5	事業の独自性	5点	-
4	事業への熱意	10点	8.0点
合計点		31.0点/40点満点	42.3点/50点満点
得点率		77.5%	84.5%
審査結果		採 択	採 択
審査会コメント		長崎大水害から40年以上が経過し当事者の声を聞く機会も失われはじめる中、本事業は災害としての記憶を風化させないといった意味で必要性のある事業であると評価できる。また竹灯籠の制作やパネル展示を通して市民の防災意識の向上に寄与できるものと期待できる。 一方、現在は大水害の被害や悲惨さといった「記憶」の継承に努めているものの、中島川だけでなく「他の地域との連携等普及活動の拡大に向けた取り組み」や、より市民の防災意識の向上につながるような「避難時のノウハウ等を伝える防災講座」の実施など、可能であればもう一歩踏み込んだ事業展開にも期待したいところである。 さらには、今回3度目の実施であることから、事業の実現性は十分に一定認められるものの、本来、収益が見込める活動ではないことから、今後の継続が課題であると思われる。そのため、他の民間補助金の活用等、本補助金終了後の次の段階を見据えた活動継続のための工夫を合わせて検討してほしい。	本団体は現在、長崎市子育て支援センターの指定管理に加えて、本市の水産振興課と共に独自のカードゲームを活用した魚食普及に取り組む提案型協働事業を実施しており、そして今回の本補助金への申請にあたり、これらの内容が異なる事業を上手く連動させながら、団体のミッションである「あそびを通して子どもを育てる」「あそびを通して子どもたちとコミュニケーションをとる」ことに一貫して取り組む点をまずは高く評価できる。 また、質疑応答において、コロナ禍ではワークショップを中心とした活動が制限される等の苦労を経験したからこそ、今後は現在の環境に適合しながら多くの人を巻き込んでいく積極的な姿勢が強く印象に残った。今回、活動20周年の節目に時期を逃さず「リスタート」として取り組む本事業が、上記の他の事業との相乗効果を高めながら、子育て分野で長年活躍するトップランナーとして、他の市民活動団体の見本となることを期待したい。